

## 電波伝搬実験

JJSXA/池

5月29日に行われた、240グループ恒例の電波伝搬実験、生憎のお天気で各局苦勞されたことでしょう。

私は、今回は渋峠に移動しましたが、前日の土曜日午前9時過ぎ、自宅を出発し、圏央道・青梅ICから入り、関越道、上信越道で信州中野ICで下りて、後は292号線で一路渋峠へというルーとでした。

途中休憩をとりながらのんびり走りましたが、午後2時頃には現地到着、早速試験電波の発信ですが、例の如く、先ずはCWで波を出したのですが、これが間違いのもと、リグとエレキーをつなぐケーブルのマイナス側が半断線(最終的には完全に断線)、これが原因かどうか良くわかりませんが、リニアアンプが故障(ファイナルが壊れた模様)、でもすぐにはわかりませんでした。

JA1FYQ佐藤OMの声を聞きつけ、早速コールするも、私とわかったようですが、回り込みのようで、話の内容わからずと、佐藤OMの声はメリット5、マイクや、アンテナのコネクターの緩み等を点検するも異常無し、アンテナのSWRを見ると、とんでもなく高い数値、5/8λが駄目ならと、予備に持参した1/2λに変えるも大差なし、この時点では、リニアの故障に気づかず四苦八苦、いろいろ試したがまったく駄目。

佐藤OMにとりあえず連絡をと思うも、携帯電話は圏外、来る時につながった場所まで山を下り、状況を説明しました。

もう伝播実験は諦めなければいけないかと思ったが、ここでもしかしたら、リニアか？と気づき、リニアをはずし、アンテナをリグに直結してみたら、SWRはバッチリ、しかしリグの出力は、7W弱、これで本番です。

実験開始時は、どこも聞こえず、今年もボーズかと思いましたが、4ポイントとQSOできました、残念だったのは、JA1VWB木村OMが9エリアを呼びましたが、QSOできず、キー局がこれで終わりますといった直後、JA9EBS谷原OMの声がメリット5、急ぎコールしましたが、9エリアの局とQSOを始めてしまい、こちらのパワーでは、ブレイクしても無理とあきらめました。

渋峠のロケーションは文句なし、それと悪天候で移動局が全然いなく、カブリは無し、方向を変えるのも問題無しでしたが、リニアの故障というハプニングで苦勞しました。

宿は「県境の宿・渋峠ホテル」、長野、群馬の県境に建っています、宿の話では、休みの日は、無線をやる方が大勢来て駐車場は車が溢れるほどで、アンテナも林立とのことでした、最初は、直近の横手山の山頂にある「横手山・山頂ヒュッテ」に宿を取り、山頂の駐車場からオンエアーの予定でしたが、山頂に通ずる道路はまだ雪のため開通していなく、泊まりは可能で、下の駐車場から雪上車で送迎とのことでしたが、自分の車で行けなければ意味が無いので断念しました。